

2024年8月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	37,141,325	34,003,473	109.2%	47,516,313	78.2%
国内旅行	7,359,998	6,295,680	116.9%	7,709,852	95.5%
訪日旅行	921,728	740,965	124.4%	2,466,227	37.4%
合計	45,423,052	41,040,119	110.7%	57,692,394	78.7%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年同月比を記載しております。

■海外旅行

間際の夏の集客に加え、秋の連休や最大9連休となる年末年始の積み上げを図るべく、「旅のセレクション」キャンペーンを8月1日より開始。旅の目的に合わせた特典や割引クーポンを展開しました。また、「HIS 渋谷本店」営業所では、ハワイ専門デスクをオープンさせるなど、コンサルティングを通じたハワイ旅行の需要喚起に努めました。

8月出発の取扱高においては、ハワイが個人旅行に加え大型団体の受注により、2019年同月比で82.3%と好調に推移したほか、ヨーロッパ方面でも、添乗員付きツアーが2019年同月比・前年同月比で二桁増となり、2019年同月比で84.1%と取扱高を牽引しました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比109.2%、2019年同月比78.2%の371億4,132万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	73.4%
オセアニア・南太平洋	95.9%
ハワイ・ミクロネシア	73.2%
欧州・中近東・アフリカ	89.4%
北米・中南米	79.6%

商品別	2019年同月比
手配旅行	86.9%
企画旅行	66.0%

チャネル別	2019年同月比
店舗	57.5%
オンライン	87.5%

■国内旅行

秋・冬の前取り施策として、早めの予約・長めの滞在がお得なキャンペーンを沖縄と北海道で展開し、強化方面の集客強化を図りました。

8月出発の取扱高においては、北海道が、全国5都市発着のFDAチャーター直行便を利用した道央・道東ツアーや、「北海道ファーターズ」とのオフィシャルスポンサー特別企画「ES CON FIELD 手ぶらで親子サマーキャンプ」公式ツアーなどの夏の特別企画が奏功し、前年同月比101.7%、2019年同月比89.2%と堅調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比116.9%、2019年同月比95.5%の73億5,999万円となりました。

■訪日旅行

静岡県熱海市と、インバウンド旅行者の増加による地域経済の活性化及び観光産業の振興を目指す「インバウンド観光推進に関する協定」を締結し、自治体との連携強化に努めました。

8月の取扱高においては、引き続き北米マーケットからの団体旅行が牽引したほか、スペインからの団体旅行とHISオランダ法人からの個人旅行の受客が好調に推移。個人旅行向け商材では、富士山近隣の観光地と果物狩り・御殿場アウトレットを絡めた商品が伸びたほか、大阪・京都発の広島宮島1日バスツアーが高い人気をみせました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比124.4%、2019年同月比37.4%の9億2,172万円となりました。

2024年8月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比110.7%、2019年同月比78.7%の454億2,305万円となりました。

2024年8月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年度同月取扱高	2019年度同月比
インバウンド	19,662,737	14,649,737	134.2%	19,336,152	101.7%
アウトバウンド	11,990,960	12,970,220	92.4%	5,470,280	219.2%
合計	31,653,697	27,619,957	114.6%	24,806,432	127.6%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※海外における旅行事業は 7 月期決算のため、2019 年度は 2018 年 8 月の業績を比較対象としております。

■ 海外インバウンド

ハワイ法人では、大型団体の受注、ディナークルーズやマリンスポーツのアクティビティ予約により、前年同月比 123.5%、2019 年度同月比 111.3%となりました。また、アメリカ法人では、引き続き野球観戦需要によりロサンゼルスのパッケージツアー、ホテル、オプションツアー販売が好調に推移し、前年同月比 146.3%、2019 年度同月比 91.2%と順調な回復をみせました。

カナダ法人では、カナダのアルバータ州ジャスパー地域における山火事の影響が続いたものの、バンクーバーやトロントへの都市部の旅行や夏に人気のバンフ国立公園などの山岳アクティビティの需要を獲得し、前年同月比 114.5%、2019 年度同月比 138.1%で推移しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年度同月比 134.2%、2019 年度同月比 101.7%の 196 億 6,273 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

メキシコ法人では、当月出発のメキシコ国内や近場のコスタリカ行きの週末旅行の取り込みができ、前年同月比 110.8%、2019 年度同月比 199.1%となりました。また、トルコ法人では、トルコ国内外の旅行代理店にむけた、日本行き旅行の B2B 営業が奏功し、前年同月比 125.4%、2019 年度同月比 454.3%で推移しました。

一方、海外アウトバウンド事業を牽引する、カナダ法人では、単価が控えめなパッケージ商品の集客数が好調なものの、引き続きカナダにおける旅行需要が鈍化傾向にあり、前年同月比 92.2%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 92.4%、2019 年度同月比 219.2%の 119 億 9,096 万円となりました。

2024 年 8 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 114.6%、2019 年度同月比 127.6%の 316 億 5,369 万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177